



学校法人 加計学園

倉敷芸術科学大学

KURASHIKI UNIVERSITY OF SCIENCE AND THE ARTS

2022

大学院 通信制 修士課程

■ 芸術研究科
美術専攻

■ 産業科学技術研究科
機能物質化学専攻

■ 人間文化研究科
人間文化専攻

本学大学院(通信制)の各研究科では、 こんな方の入学をお待ちしています。

短期大学・高等専門学校・専修学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者など大学卒業資格を有していない方でも、入学資格審査を行い認定された場合には出願を許可します。詳細については入試部までお問い合わせください。

芸術研究科 美術専攻

定員10名

- 美術系大学の学部卒で、生涯教育の一環として、芸術の制作研究や芸術の理論的知識の学修を通じて更に幅広く深く文化創造に携わりたい社会人、又、大学院進学希望を持っていたが、現在は諸般の事情などで企業などに勤務している社会人。
- 自宅での制作研究が可能で、美術分野の制作研究に高い志を有する人や、既に表現方法を構築しているレベルの人。
- 現職の美術系大学、短期大学、専門学校、専修学校、または各種学校の専任教員、非常勤講師などで修士(芸術)の学位を取得したい人。
- 現職の中学校・高等学校の美術教員で専修免許状を取得したい人。

産業科学技術研究科 機能物質化学専攻

定員20名

- 企業、官公庁、教育・研究機関等に勤務し、所属部署内外を問わず、勤務先の許可を得て、自身の研究に必要な研究設備が利用できるか、IT機器の準備および自身の研究に必要な操作ができる人。
- 化学系、医薬系、食品系、またはバイオ系企業に在籍する理工系学部、薬学部、農学部、または医歯学部卒業者。
- 化学系、医薬系、食品系、またはバイオ系企業に在籍し、3年以上実務経験を積んだ人で理工系学部、薬学部、農学部、医歯学部卒業者と同等以上の学力があると本学大学院において認めた人。
- 現職の中学校・高等学校の理科教員で専修免許状を取得したい人。

人間文化研究科 人間文化専攻

定員30名

- 従来の学問領域の枠を越えて新たな知的探究拠点を自ら開拓できるフロンティアスピリットに富み、探究心が旺盛で意欲のある社会人。
- 大学、短期大学、専門学校、専修学校、または各種学校の専任教職員、非常勤教職員等で修士(学術)の学位を取得したい人。
- 志望する研究分野に関する大学院レベルの高度な専門知識・技能を身に付けて、将来に向けてステップアップを目指す人。

通信制では…

通信制は、自宅学習が基本となり、併せてスクーリングが行われます。そのため、学部を卒業した方、就職されている方など個々のライフスタイルに合わせた方法で学習が可能となり、また通学制の大学院と同じ教育サービスを受けることができます。例えば、本学においては実験・実習室、図書館等の施設・設備の使用は、スクーリング時に可能となるため、実験・実習・制作の他、専門書を読んで知識を深めることができます。他にも、学内LANを整備しており、情報収集と発信が可能です。この恵まれたキャンパス環境を利用して、自由に制作・研究を、そしてさらなる資格取得を目指してみませんか？

取得できる資格

研究科	専攻	免許状の種類	免許教科
芸術研究科	美術専攻	中学校教諭専修免許状	美術
		高等学校教諭専修免許状	
産業科学技術研究科	機能物質化学専攻	中学校教諭専修免許状	理科
		高等学校教諭専修免許状	

スクーリングについて

課題探求能力の育成、効果的なプレゼンテーションの方法、技能の修得を養うためには、グループ研究・討議や、指導教員からの直接講義・指導を受ける必要があります。そのため、本学においては、5月、8月、11月、1月の土・日曜日等を利用してスクーリングを実施します。(スクーリングの回数、日程については各研究科によって異なり、担当教員との話し合いのうえ定めます。)



芸術研究科

美術専攻

〈研究科長〉馬場 始二 教授 (2021年度)

CON
CEPT

芸術研究科には、現代表現系、油画系、日本画系からなる美術専攻を設置し、専門的知識を深める一方で、関連科目の配置により、幅の広い豊かな美術的教養を身につける。

アドミッションポリシー

大学院設置基準第3条第1項にあるように、「修士課程は、広い視野に立って精深な学識」を求めることが要求されるが、本専攻では専門分野を深めるだけでなく、専門性を異にする研究仲間が身近にいるという環境を生かして、広い美術分野全般に広い関心をもつ人材を求めている。

1. 美術全般に広い興味をもつこと
2. 独創的な発想のできる能力
3. 研究仲間と協調して研究を進めていく姿勢
4. 社会的意識を失わずに専門性を追求する意志

3つの系列と関連項目

※系列・科目・担当教員については変更になることがあります。

現代表現系

担当教員:川上 幸之介

現代絵画・写真・彫刻、パフォーマンス、ビデオアート、インスタレーション、参加型アートといった学部で実践した各自の研究領域を発展させる。現代アートのコンテキスト、歴史、構造をレクチャーから学び、実践へ応用する。レクチャーでは西洋哲学、政治思想、美学、美術史の概要を押さえ現代アートに対する理解を深める。また、主に重要なキュレーターがキュレーションを行った国際展を概観する。これにより現代アートを総合的に理解し、芸術の今後の展開を考察する。



日本画系

担当教員:森山 知己

東洋画の古典技法が正当に継承され、それを保持しながら発展してきた日本画の独自性を基盤にして、伝統的な専門分野のより深い研究と創作者の視点に立った古典研究を推進し、高次の創造能力の育成を目指し、日本画の現代絵画としての可能性を追求する。



油画系

担当教員:五十嵐 英之

テンペラ技法・油彩画技法などの伝統的な絵画技法の研究、アクリル画などの新しいメディウムの研究、版画の新技术の研究など実験的な取組を行い、それらの技法を併用した表現について探求する。自らの作品を制作する中で、各自のテーマを深く掘り下げながら、絵画表現の可能性を追求する。また、教育、療育、医療の現場で絵画表現を取り入れた活動が展開されている現在、社会のニーズに応える新しい支援活動の手立てやその理論について研究する。



関連科目

担当教員:松岡 智子

芸術学や美術史などの理論科目を配置し各自の制作を客観的にとらえ、考察する視点を持ち芸術学的思索によって制作の本質を考え、幅の広い豊かな美術的教養を身につけた専門家の育成をはかる。



修了要件

修了要件は30単位以上修得し、修了作品及び研究報告書の審査ならびに最終試験に合格すること。

(開講予定科目)

CURRICULUM	系 列	授 業 科 目 名 称	単位数	通信授業	スクーリング	配当年次
	現 代 表 現 系	現代表現制作研究Ⅰ	4	●	●	1
		現代表現制作研究Ⅱ	4	●	●	1
		現代表現制作研究Ⅲ	4	●	●	2
		現代表現制作研究Ⅳ	4	●	●	2
	油 画 系	油画制作研究Ⅰ	4	●	●	1
		油画制作研究Ⅱ	4	●	●	1
		油画制作研究Ⅲ	4	●	●	2
油画制作研究Ⅳ		4	●	●	2	

系 列	授 業 科 目 名 称	単位数	通信授業	スクーリング	配当年次
日 本 画 系	日本画制作研究Ⅰ	4	●	●	1
	日本画制作研究Ⅱ	4	●	●	1
	日本画制作研究Ⅲ	4	●	●	2
	日本画制作研究Ⅳ	4	●	●	2
関 連 科 目	現代芸術論	2	●		1・2
	日本美術史特論	2	●		1・2
	西洋美術史特論	2	●		1・2
	芸術学特論	2	●		1・2
	修了作品制作研究	10	●	●	1~2

産業科学技術研究科

機能物質化学専攻

〈研究科長〉 岡 憲明 教授 (2021年度)

C O N
C E P T

産業科学技術研究科には、機能性分子の発掘、開発、創成、応用を研究する機能分子化学系と、生体細胞と病理に関する教育と研究を行う分子細胞病理学系を配置し、それぞれの関連分野において種々の課題を解決できる人材を養成する。

アドミッションポリシー

本専攻は、実験、実践経験をとおして研究遂行方法を体得し、結果を論理的かつ簡単明瞭にまとめ、発表できる能力を涵養することが主題である。従って、実験が好きで、個別の領域を越えてチャレンジできる人材を求める。

1. 明るく協調性に富む人物
2. 知的好奇心の旺盛な人物
3. 目的意識の明確な人物
4. 実験、研究に粘り強く取り組める人物

2つの系列

※系列・科目・担当教員については変更になることがあります。

機能分子化学系

担当教員: 岡 憲明・奥本 寛・仲 章伸・大杉 忠則・山野 ひとみ・樫村 友隆

機能性分子や機能性高分子の発掘、創成、開発、解明と応用を目標とし、先導的バイオテクノロジー、有機合成化学的手法、またはそれらのハイブリッドを基本戦略として、学術的かつ応用的な教育・研究を行う。



分子細胞病理学系

担当教員: 三宅 康之・泉 礼司・岡田 誠剛・佐藤 正和

細胞病理学、生理学、分子生物学とバックグラウンドが異なる教員が相互に連携し、各教員の科学的な興味に応じたテーマを内外の研究機関と共同して研究を行っている。臨床と基礎、細胞病理学、生理学、分子生物学という従来の学問の枠を飛び越え、融合させたスケールの大きい研究を目指している。



修了要件

修了要件は30単位以上修得し、修士論文の審査ならびに最終試験に合格すること。

(開講予定科目)

CURRICULUM	系 列	授業科目名称	単位数	通信授業	スクーリング	配当年次
	機能分子化学系	機能分子設計特論	2	●	●	1・2
		生理活性分子特論	2	●	●	1・2
		機能性食品学特論	2	●	●	1・2
		バイオテクノロジー特論	2	●	●	1・2
		植物細胞工学特論	2	●	●	1・2
		触媒機能応用特論	2	●	●	1・2
		不斉分子変換特論	2	●	●	1・2
		機能分子変換特別講義	2	●	●	1・2
		分子シミュレーション特論	2	●	●	1・2
		環境材料特論	2	●	●	1・2
		熱力学概論	2	●	●	1・2
		魚類学特論	2	●	●	1・2
血液浄化学特論		2	●	●	1・2	

系 列	授業科目名称	単位数	通信授業	スクーリング	配当年次
分子細胞病理学系	細胞病理学特論Ⅰ	2	●	●	1・2
	細胞病理学特論Ⅱ	2	●	●	1・2
	細胞病理学特論Ⅲ	2	●	●	2
	神経科学特論Ⅰ	2	●	●	1・2
	神経科学特論Ⅱ	2	●	●	1・2
	神経科学特論Ⅲ	2	●	●	2
	細胞生理学特論Ⅰ	2	●	●	1・2
	細胞生理学特論Ⅱ	2	●	●	1・2
	細胞生理学特論Ⅲ	2	●	●	2
	細胞生物学特論	2	●	●	1・2
	病理組織・細胞診断学特論	2	●	●	1・2
	ゼミナール	4	●	●	1
	特別研究(修士論文)	8	●	●	1~2

人間文化研究科

人間文化専攻

〈研究科長〉村山 公保 教授 (2021年度)



人間文化研究科には教育・文化系、危機管理学系、健康科学系、動物生命科学系からなる人間文化専攻を設置し、個別の研究成果を横断的にコラボレートして、新しい発想の学問領域を開拓するための研究を目指す。

アドミッションポリシー

教育・心理、危機管理学、健康科学、動物生命科学の各分野から、指導する分野の基礎的な専門知識と研究能力を身につけ、個別の学問領域を越えた学際的な視点に立って、現代社会が直面する諸問題の解決にチャレンジできる以下のような人物を求めている。

1. 志望する研究分野に対する基礎的な専門知識・技能と明確な目的意識を有する人物。
2. 研究を進めるために必要な論理的思考能力や文章作成能力などの諸能力を有する人物。
3. 旺盛な知的探究心をもって積極的に課題に取り組むことのできる人物。

4つの系列

※系列・科目・担当教員については変更になることがあります。

教育・文化系

担当教員:唐川 千秋・橋元 純也・高木 加奈絵

「人生100年時代」に向けて社会が大きな転換点を迎える中において、生涯学習、キャリア形成の重要性は一層高まっている。教育・心理系では、生涯にわたって自立的に学び続ける視点、キャリア教育および人材開発の視点、学習メカニズムの心理的理解の視点を中心に、これからの時代の人間形成のあり方を探求する。



健康科学系

担当教員:吉田 悦男・大川 元久・枝松 千尋・矢田貝 智恵子・椎葉 大輔

現代社会では、すべての人々がより良い環境の中で食生活や運動などの適切な生活習慣を持ち、健康的な生活を送れる社会環境づくりに貢献できる人材が求められている。健康科学系では、人間の生活基盤である健康分野を中心に、人間の身体機能、スポーツの安全性、健康体の維持増進などについて科学的に研究を行う。



危機管理学系

担当教員:村山 公保・徳田 美智

現代社会で強く求められているのがリスクマネジメント(危機管理)の視点である。危機管理学系では経済・経営、災害、情報の分野を中心に、リスクマネジメントの能力をより高い次元で修得し、様々な分野で活躍できる人材の育成を目指す。



動物生命科学系

担当教員:武光 浩史・湯川 尚一郎・村尾 信義

身近な動物は、私たちの生活をより豊かにしてくれる。そして、その存在は、生活スタイルの変化や獣医療の発展の中であらゆる研究テーマを提案してくれる。動物生命科学系では、動物看護、獣医臨床、公衆衛生、分子生物領域など、様々な分野(自然科学・社会学)を研究テーマにしなが動物のことを深く学んでいく。



修了要件

修了要件は30単位以上修得し、修士論文の審査ならびに最終試験に合格すること。

(開講予定科目)

CURRICULUM	系 列	授 業 科 目 名 称	単位数	通信授業	スクーリング	配当年次
	教育・文化系	人間形成論研究	4	●		1・2
		人間形成論演習	2	●	●	1・2
		教育開発論研究	4	●		1・2
		学習心理学研究	4	●		1・2
		学習心理学演習	2	●	●	1・2
	危機管理学系	危機管理学研究	4	●		1・2
		危機管理学演習	2	●	●	1・2
		経営リスク研究	4	●		1・2
		経営リスク演習	2	●	●	1・2
情報リスク研究		4	●		1・2	
情報リスク演習		2	●	●	1・2	

系 列	授 業 科 目 名 称	単位数	通信授業	スクーリング	配当年次	
健康科学系	健康運動科学の研究	4	●		1・2	
	健康運動科学演習	2	●	●	1・2	
	生活習慣病予防の研究	4	●		1・2	
	生活習慣病予防演習	2	●	●	1・2	
	救急・災害医療の研究	4	●		1・2	
	救急・災害医療演習	2	●	●	1・2	
	健康と食生活の研究	4	●		1・2	
	運動免疫学研究	4	●		1・2	
	動物生命科学系	環境と健康生活の研究	4	●		1・2
		環境と健康生活演習	2	●	●	1・2
		人間動物関係学研究	4	●		1・2
		人間動物関係学演習	2	●	●	1・2
動物臨床生化学		4	●		1・2	
動物臨床生化学演習		2	●	●	1・2	
動物看護学研究	4	●		1・2		
特別研究(修士論文)	6	●	●	1~2		

通信制年間予定

1 年次

スケジュール

年次 2

芸術研究科

学事日程	制作研究課題作品・関連科目レポート等の提出	修了作品・研究報告書の提出・審査
4月	オリエンテーション(第2週目)	
5月	スクーリング(第1週目)	修了作品テーマ・研究計画書作成の相談
7月		修了作品テーマ・研究計画書作成の助言指導、提出
9月	スクーリング(第1週目)	
11月	スクーリング(第3週目)	修了作品・自由課題1のエスキース・小下図等の提出、合評会
1月	スクーリング(第4週目)	修了作品・自由課題1の提出、合評会
2月	スクーリング	

産業科学技術研究科

学事日程	修士論文の提出・審査
4月	修士論文研究テーマ決定(4/30)
6月	研究指導計画書の提出
7月	課題レポートの提出
8月	スクーリング・口頭試問(8/1~8/31)
9月	中間報告会
1月	スクーリング・口頭試問 課題レポートの提出
2月	中間報告会

人間文化研究科

学事日程	修士論文の提出・審査
4月	オリエンテーション(第2週目)
6月	研究指導計画書の提出
7月	課題レポートの提出(7/18)
8月	スクーリング・口頭試問(8/1~8/31)
9月	中間報告会
1月	スクーリング・口頭試問 課題レポートの提出(1/18)
2月	中間報告会

芸術研究科

学事日程	制作研究課題作品・関連科目レポート等の提出	修了作品・研究報告書の提出・審査
5月	スクーリング(第1週目)	修了作品制作・研究計画書作成の相談
7月		修了作品制作・研究計画書の助言指導
9月	スクーリング(第1週目)	修了作品テーマ・研究計画書提出
11月	スクーリング(第3週目)	修了作品・自由課題2の中間提出、研究報告書の面接指導
12月		学位取得審査申込票提出
1月	スクーリング(第4週目)	修了作品・自由課題2の提出、制作発表会
2月	スクーリング	論文要旨及び論文(仮)提出・口頭試問・修士論文(最終)提出

産業科学技術研究科

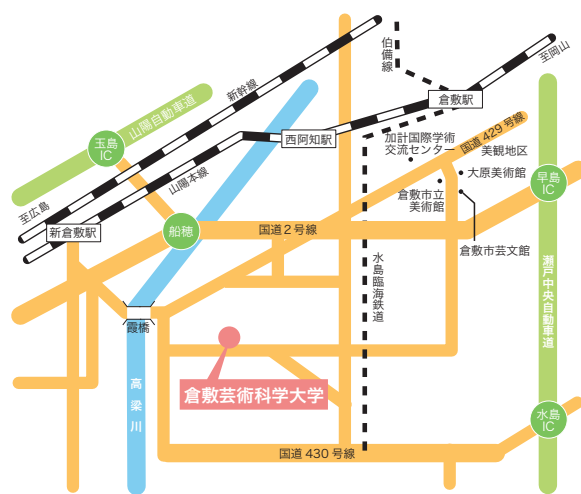
学事日程	修士論文の提出・審査
7月	課題レポートの提出(7/18)
8月	スクーリング・口頭試問(8/1~8/31)
9月	中間報告会
12月	学位取得審査申込票提出
1月	スクーリング・口頭試問 課題レポートの提出(1/18)
2月	修士論文(最終)提出・口頭試問・発表会

人間文化研究科

学事日程	修士論文の提出・審査
7月	課題レポートの提出(7/18)
8月	スクーリング・口頭試問(8/1~8/31)
9月	中間報告会
12月	学位取得審査申込票提出
1月	スクーリング・口頭試問 課題レポートの提出(1/18)
2月	修士論文(最終)提出・口頭試問・発表会

スクーリングは上記の期間中担当教員との話し合いのうえ、定められた日に実施する。

学 費	芸術・産業科学技術研究科		人間文化研究科	
	授 業 料	480,000円	授 業 料	480,000円
	スクーリング費	50,000円	スクーリング費	30,000円
	教育充実費	100,000円	教育充実費	100,000円
	合 計	630,000円	合 計	610,000円
入学金(1年次のみ)	220,000円	入学金(1年次のみ)	220,000円	



交通案内

- JR山陽本線・山陽新幹線「新倉敷駅」
両備バス①のりば「倉敷芸術科学大学行」約12分
- JR山陽本線「倉敷駅」
両備バス②のりば「倉敷芸術科学大学行」約30分

学校法人 加計学園

倉敷芸術科学大学 大学院(通信制)

〒712-8505
岡山県倉敷市連島町西之浦2640番地

<https://www.kusa.ac.jp>

入学試験に関するお問い合わせ
TEL 086-440-1112(入試部直通)
入学試験以外のお問い合わせ
TEL 086-440-1014(庶務部直通)